

検査医学

⑥ 1 担当教員名

教授・医師 九嶋 亮 治（臨床検査医学講座）

非常勤講師

准教授 茶野 徳 宏（臨床検査医学講座）

乾 武 広（甲西リハビリ病院 内科 医師）

准教授 森谷 鈴 子（病理部）

講師(学内) 松原 亜季子（検査部）

2 配当学年等

第4学年 前期

① 3 学習目標

I. 実地臨床で必要となる臨床検査医学（特に検体検査）の総論的・基本的事項を理解する。

II. 「病理診断科」の立場から病理検査・病理診断を理解する。

III. 「臨床遺伝相談科」の立場から遺伝子検査・遺伝子診断を理解する。

② 4 授業概要

I. 臨床検査専門医／管理医による講義

1 臨床検査の意義、分類、担い手

2 検体採取の注意点、医療安全、医療倫理

3 検査データの評価法と精度管理

II. 病理専門医による講義

1 病理検体の取扱い、肉眼診断、臨床画像との対比

2 術中迅速診断の意義と限界

III. 臨床遺伝専門医による講義

1 遺伝子検査の基本、遺伝子診断とカウンセリング

5 授業内容

③ ④

上記の到達目標に達し、教育目的が果たせるよう、診療の現場と国家試験を考慮した内容の講義を行う。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
令和2年					
4月6日(月)	1	九嶋・乾	検査医学総論	臨床検査の意義、種類、感度と特異度	臨1
4月6日(月)	2	茶野	臨床ゲノム診断学	遺伝子検査の基本、診断とカウンセリング	臨1
4月6日(月)	3	森谷・松原	臨床医学としての病理診断学	病理検体の取扱い、術中迅速診断の意義	臨1
4月17日(金)	4	九嶋・茶野・森谷・ 松原・乾	試験		臨3
5月22日(金)	2	〃	再試験		臨1

6 授業形式・視聴覚機器の活用

基本的にパワーポイントを用いたスライド投影を中心にして講義を進める。

⑦ 7 評価方法

定期試験・卒業試験とも医師国家試験に準拠した試験を行い、出席点を加味して総合的に評価する。

8 教科書・参考文献

異常値の出るメカニズム（医学書院）

検査値を読むトレーニング：ルーチン検査でここまでわかる（医学書院）

臨床検査のガイドラインJSLM2015／日本臨床検査医学会編（宇宙堂八木書店）

組織病理アトラス（文光堂）

9 オフィスアワー（授業相談）

いつでもどうぞ

10 学生へのメッセージ

臨床医が実地診療の現場で正確に診断し適切な医療を行うためには必要十分な臨床検査を選択し、データを解釈する能力を身につけることが重要であり、その精度管理や実施方法を総論的に学んでほしい。一方、本学附属病院は2014年に病理診断科の標榜を開始したが、診療科としての病理診断学における一般臨床医と病理専門医の役割を知ってほしい。